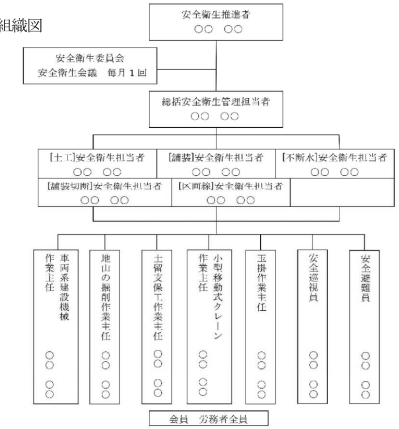
配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和8年10月施行）

改訂案

P2

１１　安全衛生組織図



１２　再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法

１３　環境対策（作業環境・現場事務所・工事現場のイメージアップ・熱中症対策等）

１４　その他（添付書類）

(1) 現場代理人経歴書

(2) 主任（監理）技術者経歴書

主任技術者（一・二級土木施工管理技士）資格証写

(3) 配管技士資格証写（鮮明なもの）

(4) 車両系建設機械技能講習修了証写（鮮明なもの）

(5) 地山の掘削作業主任者技能講習修了証写（鮮明なもの）

(6) 土留の支保工作業主任者技能講習修了証写（鮮明なもの）

(7) 小型移動式クレーン運転技能講習修了証写（鮮明なもの）

(8) 玉掛け技能講習修了証写（鮮明なもの）

(9) 工事施行届

(10) 工事請負契約書写

(11) 道路占用許可申請書写、道路使用許可書写

(12) 地下埋設物確認書写

(13) 土留標準図

(14) 現場事務所位置図

(15) 工事標示板位置図、および詳細図

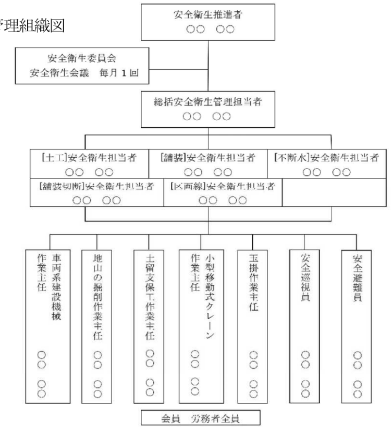
(16) 施工体系図

(別冊) 残土、産業廃棄物処分場位置図および許可証写、委託契約書写、運搬経路図

現　行

P2

１１　安全衛生管理組織図



１２　残土および廃棄物の処理計画（再生資源の利用の促進）

１３　環境対策（作業環境・現場事務所・工事現場のイメージアップ・熱中症対策等）

１４　その他（添付書類）

(1) 現場代理人経歴書

(2) 監理技術者（監理技術者資格者）経歴書

主任技術者（一・二級土木施工管理技士）経歴書

(3) 専門技術者経歴書

(4) 配管技士資格証写（鮮明なもの）

(5) 車両系建設機械免許証写（鮮明なもの）

(6) 地山の掘削作業主任者写（鮮明なもの）

(7) 土留の支保工作業主任者写（鮮明なもの）

(8) 小型移動式クレ　ン運転技能講習修了証写（鮮明なもの）

(9) 玉掛技能講習修了証写（鮮明なもの）

(10) 工事施行届

(11) 工事請負契約書写

(12) 道路占用許可申請書写、道路使用許可書写

(13) 地下埋設物確認書

(14) 土留標準図

(15) 現場事務所位置図

(16) 工事標示板位置図、および詳細図

(17) 施工体系図、施工体制台帳、作業員名簿等

(別冊) 残土、産業廃棄物処分場位置図および許可証

配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和8年10月施行）

改訂案

P7

イ　新設管および既設管を記入し、工区、管種、管径、形式、工事延長、掘上撤去・廃止管充填延長、測点（50m 毎）および仕切弁等を表示すること。なお、新設する DIP 管は内面エポキシ樹脂塗装が標準のため、表示を不要とし、内面エポキシ樹脂塗装以外の場合は表示すること。

ウ　給水管連絡工事については、新設管を記入し止水栓まで表示する。また、管種、管径および隣地境界からの距離を表示する。なお、配水管より直角に引込みできない給水管分岐点は、官民境界、民々境界、消火栓等の引照点から２点オフセットで表示するものとし、平面図に数値を記入できない時は、余白に抜粋して記入すること。

また、道路内連絡箇所は、すべて下の表に必要事項を記入し完成図に挿入すること。

給水管道路内連絡情報

お客様番号	名　前	管種	口径	布設延長	備考
（例）12345	水道　太郎	PP－PP	20-20	L＝O．Om	A工区

エ　管路の位置寸法(離れ＜上段＞・深さ＜下段＞)を適宜表示すること。特に変化点および他埋設物による切廻等については記入漏れのないようにすること。

オ　工事延長は、始点～終点の配管平面距離とする。ただし、乙字管は有効長（L）で計測する。

カ　仕切弁箇所には、仕切弁支距図と関連する記号を記入する。

キ　建造物には、住所および氏名・お客様番号を記入のこと。

ク　方位を記入し、上方を北とするのを標準とする。

ケ　工事の起終点・管路途中の連絡配管分岐点は官民境界、民々境界、消火栓等の引照点から２点オフセットで表示する。

コ　ドレンの吐出口が見えない場合、隣地境界からの距離を表示する。

サ　試験掘等で、既設廃止管の位置が判明している場合は適宜記する。

(4) 配管詳細図

ア　異形管および切管を使用した箇所は、配管詳細図で表すこと。

イ　分割して表示する場合、タイトルに測点を表示すること。

ウ　縮尺はフリーとする。

7

現　行

P7

イ　新設管および既設管を記入し、工区、管種、管径、形式、工事延長、掘上撤去・廃止管充填延長、測点（50m 毎）および仕切弁等を表示すること。

ウ　給水管連絡工事については、新設管を記入し止水栓まで表示する。また、管種、管径および隣地境界からの距離を表示する。なお、配水管より直角に引込みできない給水管分岐点は、官民境界、民々境界、消火栓等の引照点から２点オフセットで表示するものとし、平面図に数値を記入できない時は、余白に抜粋して記入すること。

また、道路内連絡箇所は、すべて下の表に必要事項を記入し完成図に挿入すること。

給水管道路内連絡情報

お客様番号	名　前	管種	口径	布設延長	備考
（例）12345	水道　太郎	PP－PP	20-20	L＝O．Om	A工区

エ　管路の位置寸法(離れ＜上段＞・深さ＜下段＞)を適宜表示すること。特に変化点および他埋設物による切廻等については記入漏れのないようにすること。

オ　工事延長は、始点～終点の配管平面距離とする。ただし、乙字管は有効長（L）で計測する。

カ　仕切弁箇所には、仕切弁支距図と関連する記号を記入する。

キ　建造物には、住所および氏名・お客様番号を記入のこと。

ク　方位を記入し、上方を北とするのを標準とする。

ケ　次の箇所は官民境界、民々境界、消火栓等の引照点から２点オフセットで表示する。

(ｱ) 工事の起終点・管路途中の連絡配管分岐点。

(ｲ) ドレンの吐出口が見えない場合。

コ　試験掘等で、既設廃止管の位置が判明している場合は適宜記する。

(4) 配管詳細図

ア　異形管および切管を使用した箇所は、配管詳細図で表すこと。

イ　分割して表示する場合、タイトルに測点を表示すること。

ウ　縮尺はフリーとする。

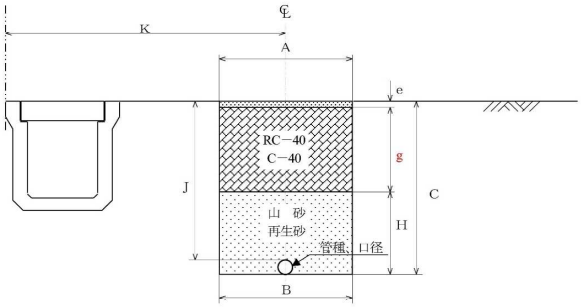
配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和8年10月施行）

改訂案

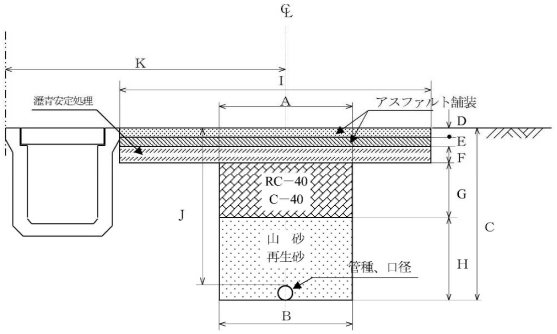
P23

管布設工標準図（市道：車道(主要幹線道路)，国道：車道）　　参考図

仮復旧時



本復旧時



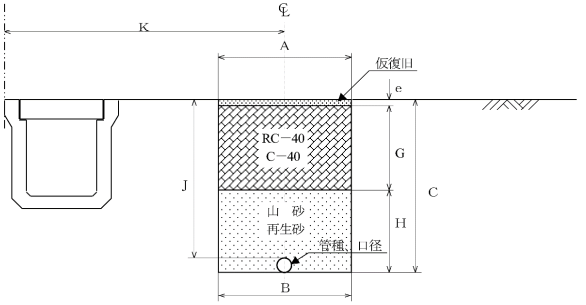
注：摩耗層がある場合は表層をD1(摩耗層)、D2（表層）と表すこと。

現　行

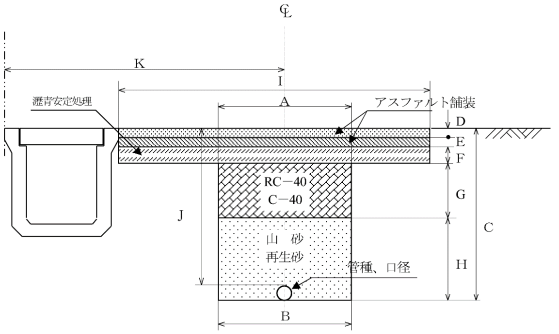
P23

管布設工標準図（市道：車道(主要幹線道路)，国道：車道）　　参考図

中間検査時



完成検査時



注：摩耗層がある場合は表層をD1(摩耗層)、D2（表層）と表すこと。

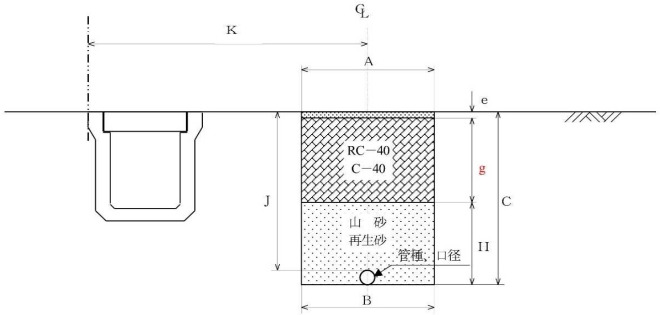
配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和8年10月施行）

改訂案

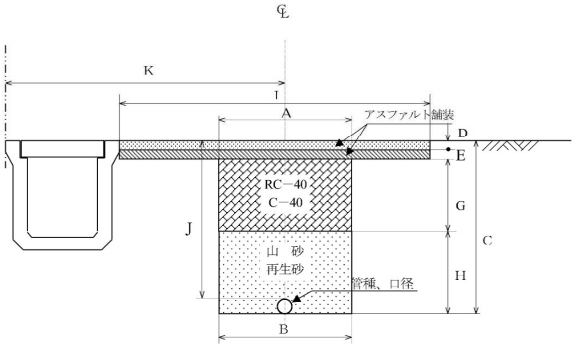
P24

管布設工標準図（市道:車道(A)，国道：通路１・２種）　参考図

仮復旧時



本復旧時

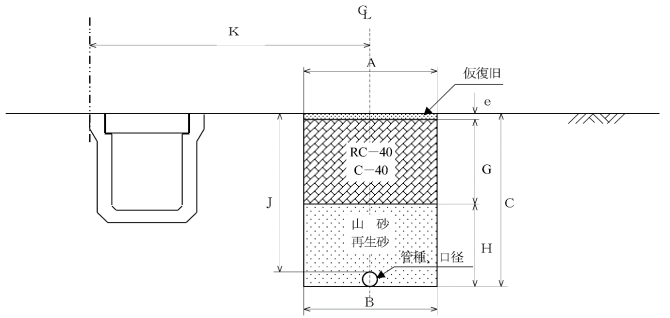


現　行

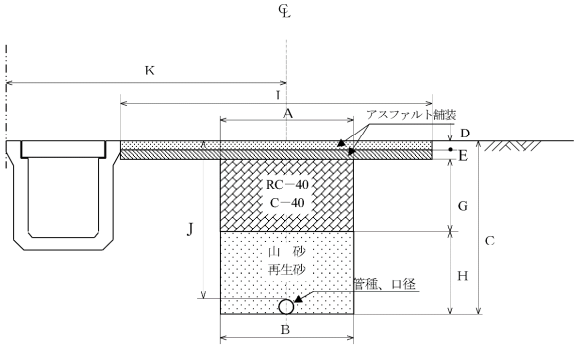
P24

管布設工標準図（市道:車道(A)，国道：通路１・２種）　参考図

中間検査時



完成検査時



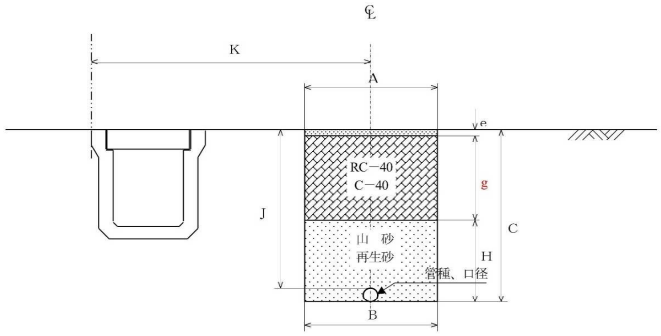
配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和8年10月施行）

改訂案

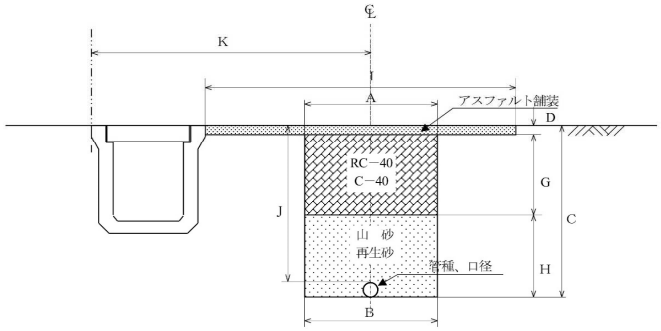
P25

管布設工標準図（市道:車道(B)・歩道，国道：通路３種・歩道）　参考図

仮復旧時



本復旧時

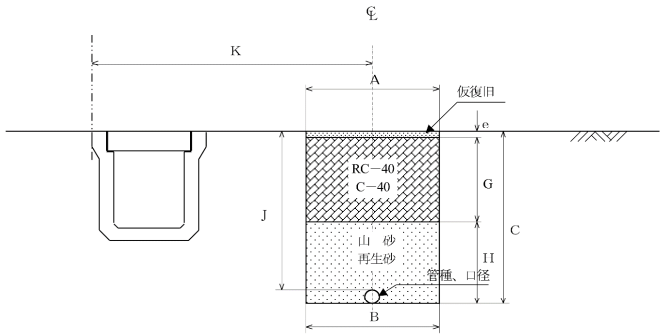


現　行

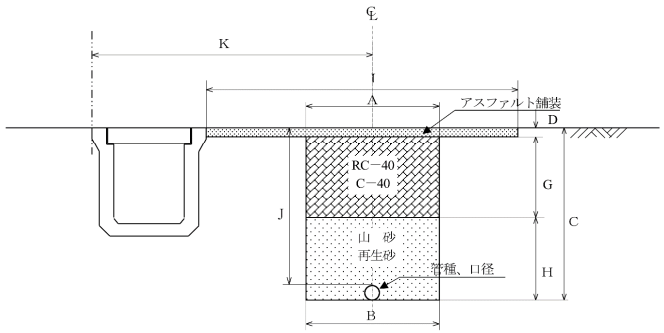
P25

管布設工標準図（市道:車道(B)・歩道，国道：通路３種・歩道）　参考図

中間検査時



完成検査時



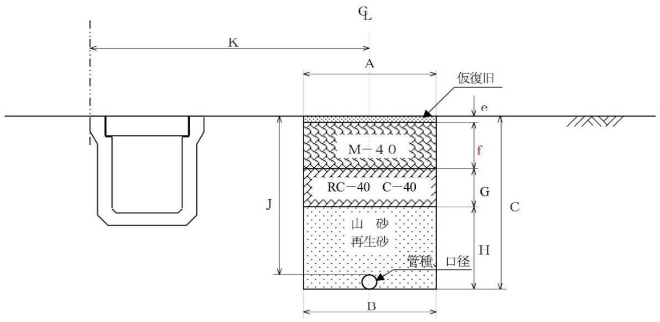
配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和8年10月施行）

改訂案

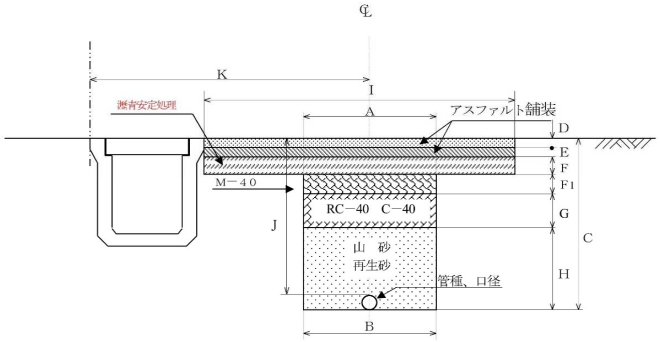
P26

管布設工標準図（県道:車道）　　参考図

仮復旧時



本復旧時



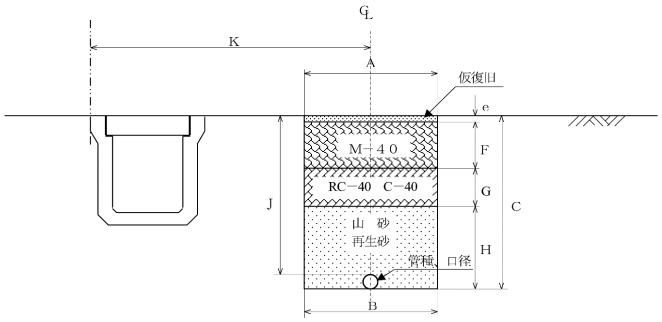
注：摩耗層がある場合は表層をD1(摩耗層)、D2（表層）と表すこと。

現　行

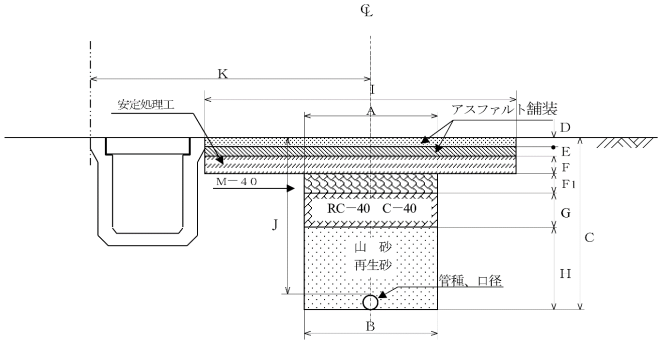
P26

管布設工標準図（県道:車道）　　参考図

中間検査時



完成検査時



注：摩耗層がある場合は表層をD1(摩耗層)、D2（表層）と表すこと。

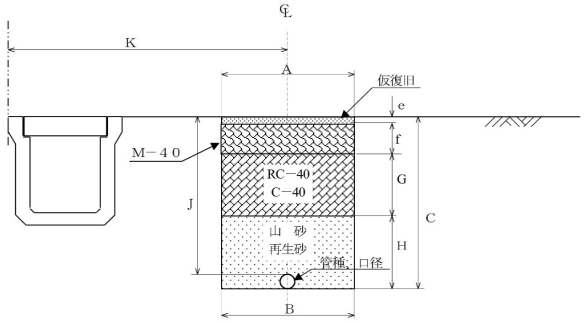
配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和8年10月施行）

改訂案

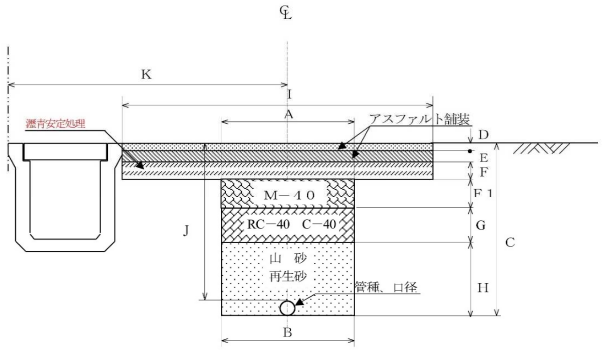
P27

管布設工標準図（県道:車道）　　参考図

仮復旧時



本復旧時

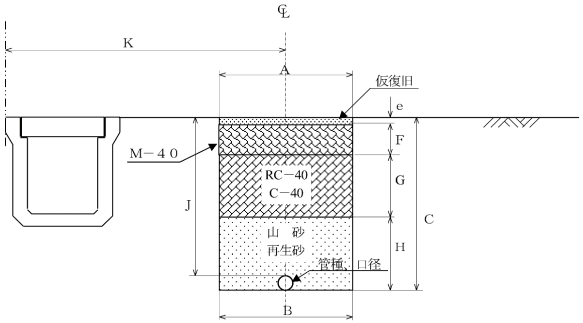


現　行

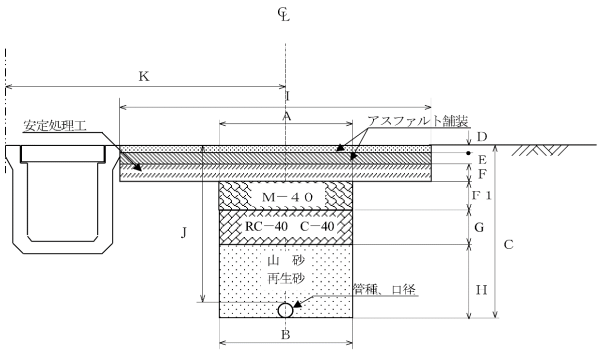
P27

管布設工標準図（県道:車道）　　参考図

中間検査時



完成検査時



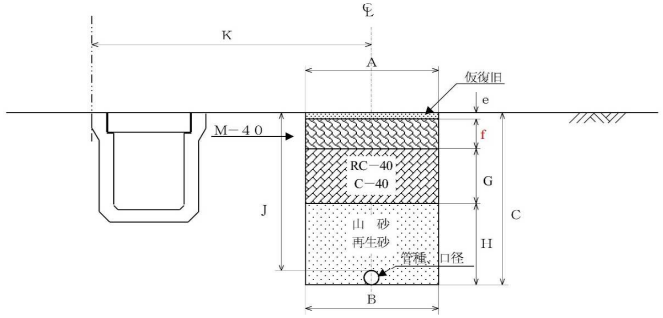
配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和8年10月施行）

改訂案

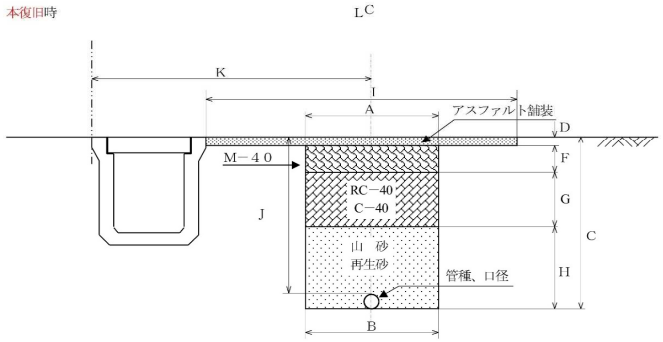
P28

管布設工標準図（県道:歩道）　　参考図

仮復旧時



本復旧時

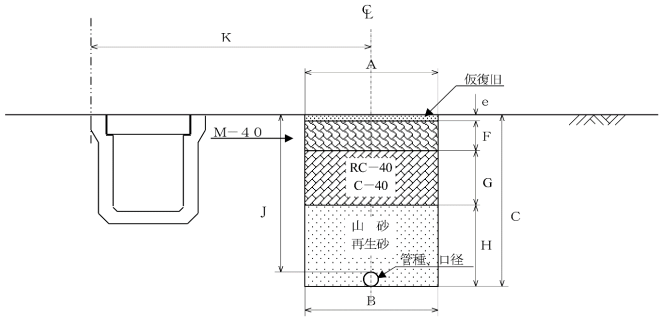


現　行

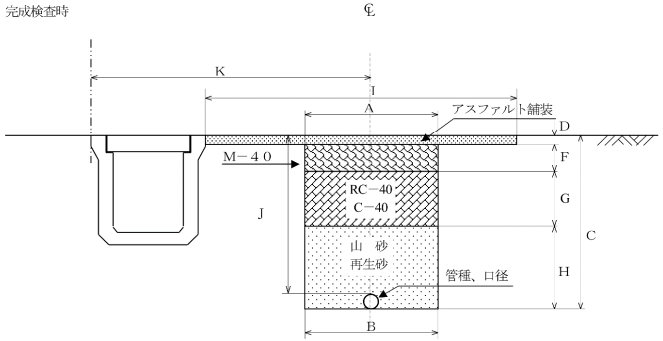
P28

管布設工標準図（県道:歩道）　　参考図

中間検査時



完成検査時

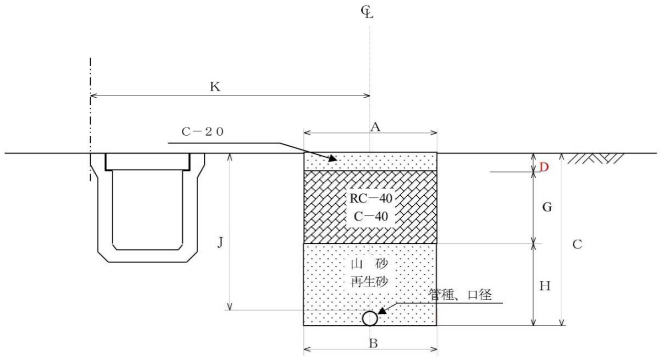


配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和8年10月施行）

改訂案

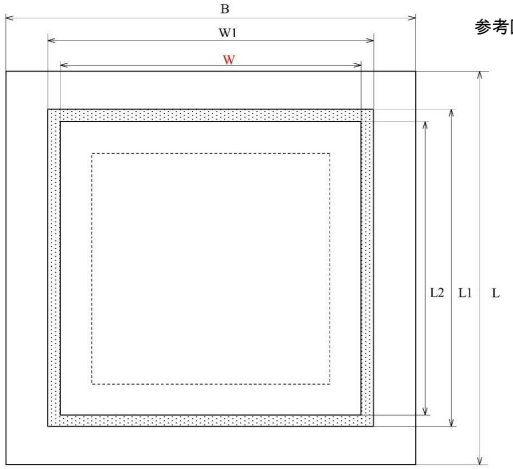
P29

管布設工標準図（砂利）　参考図



P30　弁室等の築造工・その他の構造物築造工標準図

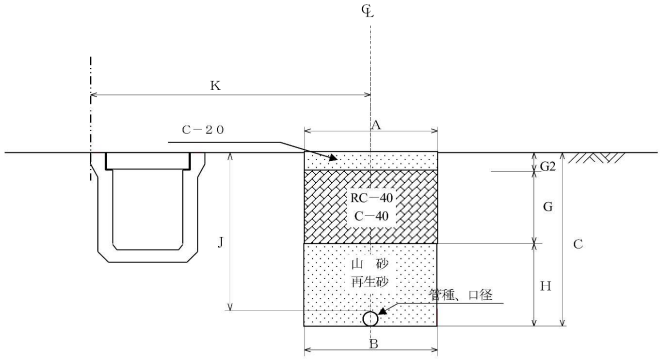
平面図



現　行

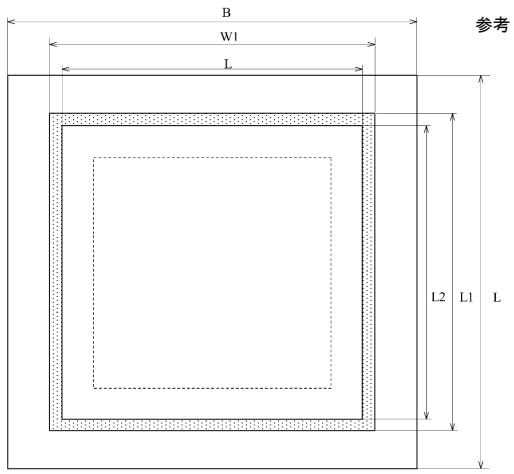
P29

管布設工標準図（砂利）　参考図



P30　弁室等の築造工・その他の構造物築造工標準図

平面図

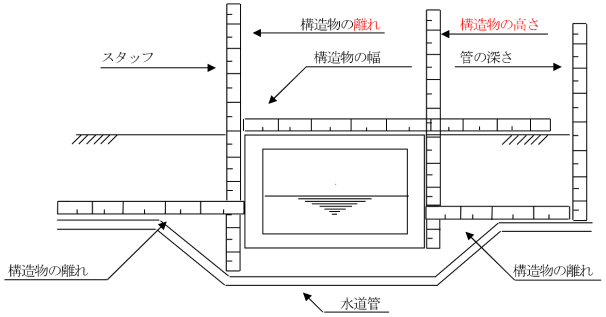


配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和8年10月施行）

改訂案

P37

参考－６．５



・地下構造物および埋設物がある場合の撮影

P65

１０　明示テープ貼り付け要領

１　適用

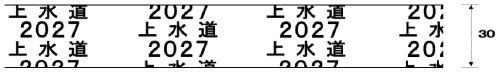
　この要領は、他埋設物との誤認あるいは事故を避けるため明示テープの施工を定めるものである。

２　明示テープ

(1) 明示に使用する材料
　ア　材　　料　－　塩化ビニールテープ
　イ　色　　地　－　色-青、文字-白
　ウ　テープの形状　－　幅－3cm、厚さ－0.15㎜±0.03㎜

３　施工方法

(1) 胴巻テープの間隔
　ア　管長 4m 以下、3 箇所／本
　　管の両端から 15～20cm ならびに中間 1 箇所
　イ　管長 5～6m、4 箇所／本
　　管の両端から 15～20cm ならびに中間 2 箇所
　ウ　特殊管でア、イに該当しない場合は、テープの間隔が 2m 以上にならないよう箇所を増加すること。
(2) 天端テープ
　ア　呼び径 400㎜ 以上の配水管の直管および切り管の全延長に貼り付けするものとする。ただし、監督員の指示がある場合はこの限りではない。
(3) 明示の方法
　（明示例）

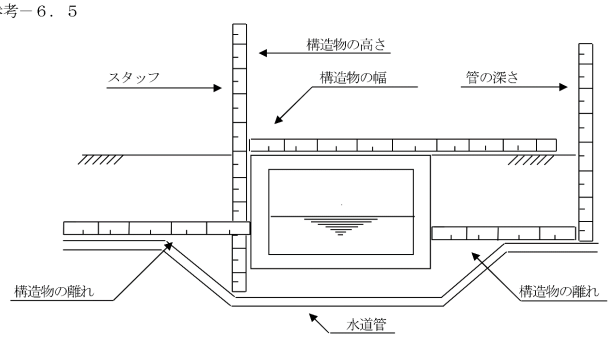


　ア　文字の大きさはタテヨコ 8 ㎜、文字間隔は 4 ㎜程度とする。
　イ　表示間隔は 3㎜ 程度とする。
　ウ　明示年は 3 ケ月ぐらいずれても差支えない。
　エ　胴巻テープは 1 回半巻きとする。
　オ　明示テープは、ポリエチレンスリーブの上から貼り付けるものとする。

現　行

P37

参考－６．５



・地下構造物および埋設物がある場合の撮影

P65

１０　明示テープ貼り付け要領

１　適用

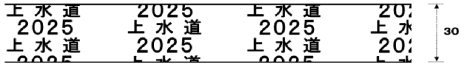
　この要領は、他埋設物との誤認あるいは事故を避けるため明示テープの施工を定めるものである。

２　明示テープ

(1) 明示に使用する材料
　ア　材　　料　－　塩化ビニールテープ
　イ　色　　地　－　色-青、文字-白
　ウ　テープの形状　－　幅－3cm、厚さ－0.15㎜±0.03㎜

３　施工方法

(1) 胴巻テープの間隔
　ア　管長 4m 以下、3 箇所／本
　　管の両端から 15～20cm ならびに中間 1 箇所
　イ　管長 5～6m、4 箇所／本
　　管の両端から 15～20cm ならびに中間 2 箇所
　ウ　特殊管でア、イに該当しない場合は、テープの間隔が 2m 以上にならないよう箇所を増加すること。
(2) 天端テープ
　ア　呼び径 400㎜ 以上の配水管の直管および切り管の全延長に貼り付けするものとする。ただし、監督員の指示がある場合はこの限りではない。
(3) 明示の方法
　（明示例）



　ア　文字の大きさはタテヨコ 8 ㎜、文字間隔は 4 ㎜程度とする。
　イ　表示間隔は 3㎜ 程度とする。
　ウ　明示年は 3 ケ月ぐらいずれても差支えない。
　エ　胴巻テープは 1 回半巻きとする。
　オ　明示テープは、ポリエチレンスリーブの上から貼り付けるものとする。

配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和8年10月施行）

改訂案

P93

NO. ○

工　事　日　誌

工事名　○○○○○線配水管整備工事(00000)　　業者名　○○○○○

月日(曜日)	天候 気温	工種、施工箇所・作業内容	打合せ事項、その他
○月 ○日 (日)		休　み	
○月 ○日 (月)	晴れ	A工区 配水管布設工　DIPφ100 No.1+42.6～No.2+9.0　L=16.4m	工事打合簿 K値の変更
○月 ○日 (火)	晴れ	A工区 配水管布設工　DIPφ100 No.2+9.0～No.2+28.0　L=19.0m A-1配水管連絡工φ100×φ100　L=2.1m	
○月 ○日 (水)	曇り	A工区 洗管工　DIPφ100 No.0+5.0～No.2+34.0　L=129.0m A工区 水圧試験工　DIPφ100 No.0+5.0～No.2+34.0　L=129.0m Am10:00～Pm4:00　7.5MPa→7.2MPa	
○月 ○日 (木)	曇り	A工区 給水管連絡工　φ100×φ20　3箇所 ③○○宅(土) ④○○宅(AS) ⑤○○宅(CON)	
○月 ○日 (金)	晴れ 5℃	A-2配水管連絡工　φ100×φ100　L=3.0m A工区 舗装工　②密粒度As　T=5cm No.0～No.2+36.0　L=136.0m	
○月 ○日 (土)	晴れ	休み	

注）1　気温測定は11月から3月に舗装工を行う場合とする。
注）2　気温測定時間は原則として午前９時とする。

現　行

P93

NO. ○

工　事　日　誌

工事名　○○○○○線配水管整備工事(00000)　　業者名　○○○○○

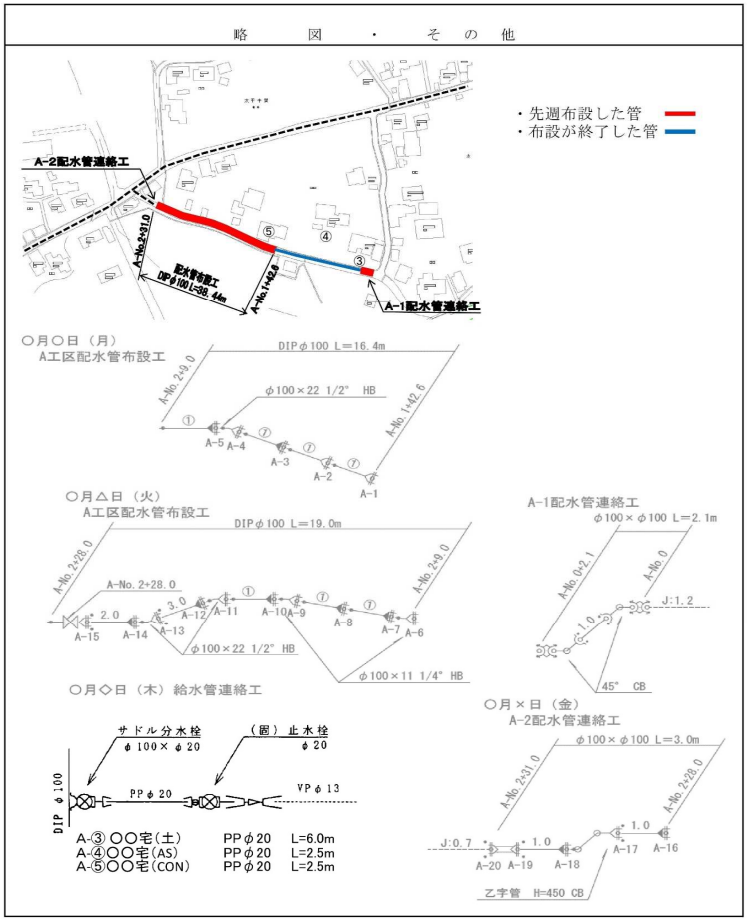
月日(曜日)	天候 気温	工種、施工箇所・作業内容	打合せ事項、その他
○月 ○日 (日)		休　み	
○月 ○日 (月)	晴れ	A工区 配水管布設工　DIPφ100 No.1+42.6～No.2+9.0　L=16.4m	工事打合簿 K値の変更
○月 ○日 (火)	晴れ	A工区 配水管布設工　DIPφ100 No.2+9.0～No.2+28.0　L=19.0m A-1配水管連絡工φ100×φ100　L=2.1m	
○月 ○日 (水)	曇り	A工区 洗管工　DIPφ100 No.0+5.0～No.2+34.0　L=129.0m A工区 水圧試験工　DIPφ100 No.0+5.0～No.2+34.0　L=129.0m Am10:00～Pm4:00　7.5MPa→7.2MPa	
○月 ○日 (木)	曇り	A工区 給水管連絡工　φ100×φ20　3箇所 ③○○宅(土) ④○○宅(AS) ⑤○○宅(CON)	
○月 ○日 (金)	晴れ	A-2配水管連絡工　φ100×φ100　L=3.0m	
○月 ○日 (土)	晴れ 5℃	A工区 舗装工　⑤密粒度As　T=5cm No.0～No.2+36.0　L=136.0m	

注）1　気温測定は監督員の指示のある時とする。
注）2　気温測定時間は原則として午前９時とする。

配水管工事標準仕様要領集新旧対照表（令和8年10月施行）

改訂案	現　行
P93	P28

略　　図　・　そ　の　他



略　　図　・　そ　の　他

